

歩こう埼玉のみさ



埼玉あるけ通信

題字：上田 清司 埼玉県知事

〒330-0064 さいたま市浦和区岸町1-4-5-102 TEL (048-831-4702) FAX (048-825-4166)

インターネット・ホームページ・アドレス <http://www.saitama-walking-kyokai.jp/> 郵便振替口座：00110-2-544531

NPO SWA事務所 (休日：第1月曜日、土・日曜日、祝日と協会指定日) 開所時間：13:00~17:00

発行所 NPO 法人埼玉県ウォーキング協会 (NPO SWA) 発行者 小川 正 編集責任者 大澤 宏

埼玉あるけ通信400記念号

変化に対応し、新しき道を切り拓こう

埼玉県ウォーキング協会 会長 小川 正

1978年(昭和53年)10月、28名の会員によって組織された**埼玉県歩け歩け協会**は来年35年の節目の年を迎えます。名称も途中から**埼玉県ウォーキング協会(SWA)**に、そして**NPO 法人の資格を取得**し、今では1,000名を超す会員がSWAの旗のもと、仲間の輪を広げ楽しみながら歩いています。

この多くの会員に多様・多彩なウォーキングの情報を提供し、会員の心をつつにまとめているSWAの機関誌**埼玉あるけ通信**は、昭和53年10月の創刊記念号から着実に年輪を重ね、400号を迎えました。まことに素晴らしい・嬉しいことであります。

これまで編集・発行に御協力いただいた多くの皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。

SWA 草創期の通信を見ますと、「ウォーキング」にけるSWAの先人の努力が読み取れますし、今に生き続ける新鮮さも保っています。これも「あるけ通信」が読み応えのある・利用価値のあるニュースを送り続けてくれたからでしょう。

高齢化社会に生きる多くの人々が、自己の健康や趣味・特技などの充実・深化を願い、その具体的実践の場として、ウォーキングは今後ますます広まり深まることが予想され、多くのウォーカーがその情報を待っています。

埼玉あるけ通信はこれまでも時代や社会の要請を的確に捉えて発行してまいりましたが、最近では紙面を増やし、内容も多面的に幅広く採りあげております。

今後ともこの姿勢を堅持し、会員の期待や要望を先取りし、絶えず新鮮味を出し、会員から喜ばれる・親しみやすいニュースを500号・600号と末長く作成するよう努めてまいります。

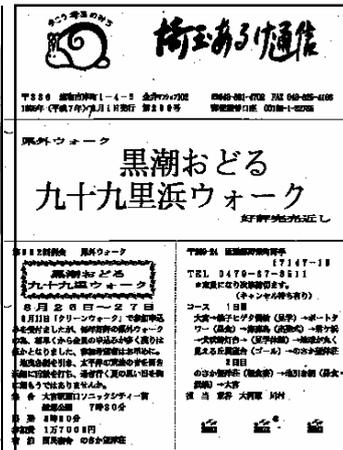
「埼玉あるけ通信」のあゆみ(Ⅰ) 創刊号~各100号の表紙



1号(昭和53年10月10日)



100号(昭和62年3月1日)



200号(平成7年7月1日)



300号(平成15年11月1日)

「埼玉あるけ通信」のあゆみ(Ⅱ)

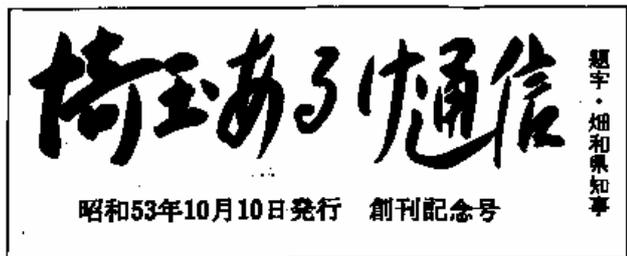
数字で見た通信のあゆみ...各ページに載せてみました。

通信にまつわる
数字(1)

* * * **3** * * *

創刊号から現在まで、**3人の埼玉県知事**(SWA名誉会長)に題字を揮毫していただきました。

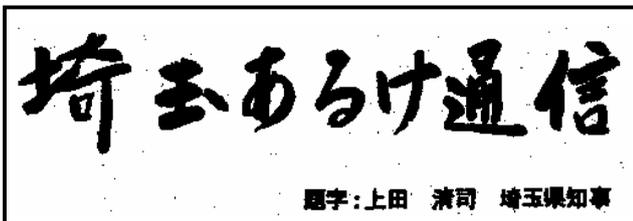
創刊号～第257号(畑 和知事)



第258号～第301号(土屋 義彦知事)



第302号～(上田 清司知事)



初めてのウォーキング

今日は初めての飯能ウォーキングに行きました。初めは「あんまり行きたくないなあ...」って気がすすまなかったけど、だんだん歩いているうちに楽しくなってきました。

ふだんは車で出かけているのであんまり歩いたりしないから、ふだん車では見られない自然やお店がたくさんありました。いつも日曜日は家でごろごろしているけど、今日はウォーキングにいい運動になりました。今日は、10K歩いたのでいい運動になりました。今日は、10K歩いたのでこんどウォーキングに出る時は20K完歩したいです。

またいろいろなウォーキングがあったら、それに参加していっぱい歩きたいです。

(新座市 在原 莉奈(小6)さん)

(歩く気分がいいよね、また家族一緒に参加してね。)

第296号飯能特集号(平成15年7月1日)より

「埼玉あるけ通信」のあゆみ(Ⅲ)

過去の通信に掲載した寄稿文を再掲載し当時を振り返ります

通信にまつわる
数字(2)

* * * **1002** * * *

掲載された**皆さんの声**です。

「埼玉あるけ通信」は皆さんと一緒にです。これからもご意見、ご提案、感想などお寄せください。

「歩け歩け」結成とその育成を、最重点目標としており、早くも見え始めた各地での動きを歓迎している。尚、事務局では、各地の「歩け歩け」に関する情報を集めています。

歩け歩けは 幼児期から

草加市立のは保育園では、十月二十七日、三才児五十三名を対象に、同市八幡町八幡神社まで、往復五キロのコースで、「秋の歩く遠足」を実施することを決定した。石谷佑子園長は、今回の成果次第で、更に距離を延ばす方針。

「投稿」

どんぐり山で せいぐらへ

伊藤良子

私たちの保育園の五才児は二十七名。お日様と仲よくしより、を合言葉に、生き生きのびのびの毎日。「歩いて6回」「走って1回」まで自信がついた。そこへ、歩け歩けの実践家猪瀬氏が登場。どんぐり山まで往復10回あるのですね。私達は、協力者も含めて、コース下見から決定までに、全神経を三とがらせて、試し歩きを三

回。ようやく、霜降と隣に読む十月二十四日、実行。車の騒音を離れて、稲のにおいを知り、峰八幡宮境内では、青い空気に思わず深呼吸。どんぐり山では、山肌のあたたかさ、思存分こぼれまわり、歓声をあげる。子どもたちの笑聲が生きていて。藤づるにつかまってゆらりと空を飛ば気分は、格別。可能への挑戦などと言えは、大げさと言われるけれど、誰もが満足した一日だった。10回歩き通した子どもたちに拍手!! (ひかわ保育園長)

第2号(昭和53年11月1日)より

通信にまつわる
数字(3)

* * * **771** * * *

創刊号から400号まで、ウォーカーの皆さんにお届けした**例会案内の数**です。

その他平日ウォーク、教室案内、KKML、加盟団体行事など毎月多彩なイベント情報をお届けしています。

これからも正確で楽しく、活用していただける、ご案内を掲載していく予定です。

通信にまつわる
数字(4)

* * * **2160** * * *

創刊号から400号まで発行した「埼玉あるけ通信」の**総ページ数**です。

ヤングウォーカーやファミリーからも多く寄せられています

★ 見沼ウォークに参加して ★
大宮市 小6 新島 淳一

僕は、初めて見沼ウォークに参加しました。40kmはきついかないと思いましたが、スリーデーマーチに比べたらまだ楽なほうかと思いましたが、また筋肉痛になるだろうと心配にもなりました。

歩き始めると大人ばかりなので不思議に思いました。大人の方は歩き方が早いので、大人のペースについていけません。今日は涼しかったので良かったです。晴れていたら2倍位つかれたらと思うました。

歩いていくと、ほとんどの学校からにぎやかな声が聞こえてきました、「今日は運動会が多いのだなあ」と思いました。僕は、見沼ウォークに子供が少ないのは、今日運動会だったからなのだと思います。

歩いているうちに、お母さんが足が痛くなったらしく、スピードが落ちてきたので、僕達の目標時間より2時間位おくれてゴールしました。

僕はゴールした時は「やった！歩いたんだ」とうれしくなりました。

これからも、いろいろな歩く種目に出てみたいと思います。今日は、疲れたけれど楽しかったです。

第192号(平成6年11月1日)より

通信にまつわる
数字(5)

* * *

1268

* * *

今までに100^キ表彰を受けられた会員の累計数です。

SWA名物、例会での「100^キ表彰」、表彰を受けられた方の氏名を掲載し紙上でもお祝いしています。

尚、100^キ~13,000^キまでの表彰者総数は14,785名(年平均435名)にもなります。



左 上
ウ表 お
ォ彰 楽
ー 後 ス
カ の ー
ー の 写 楽
の 真 し
晴 撮 の
舞 影 バ
台 は ッ
ジ

大きなイベントにびっくり

私は一日目の宮沢湖 10キロコースに参加したのですが、最初に思っていたよりも充実していて、山道などもあってけっこう大変でした。でも、歩ききった後は、あっという間だったなー、という感じで、とても楽しく歩けました。参加人数もかなり多くて、けっこう大きなイベントなんだなー、とびっくりしました。私の知らなかった道をたくさん歩くことができ、とても気持ちよかったです。これからもこのイベントが続いていくといいですね。

(美杉台中学校 3年C組 瀧上綾子さん)



(すてきな写真をありがとう、また会いましょう。)

第296号飯能特集号(平成15年7月1日)より

◇ 武蔵野十里6才・7才兄妹40km達成! ◇

初めに役員の方々そして小学校の先生、友達、一緒に歩きお菓子をくれたり荷物を持ってくれたり「頑張れ」と励ましてくれた皆様にとっても感謝しています。長男が野火止小学校一年生として父と参加する事になり、4月から入学する6才の娘が「私もやってみたい」と言うので、家族4人で40kmコースに参加させて頂きました。途中何度も「もうやだー」と大泣きしましたが4人で手をつなぎ大きな声で歌を唄ったり、しりとりなどで気をまぎらわしながら最後は役員の方が娘と手をつないでくれ、90歳の最年長のおじいちゃんと6歳の最年少の娘で見事ゴールをする事が出来ました。初めて家族4人でなしとげた一生の宝物です。皆さん、ありがとう(涙) (新座市 笹原 るみ子)



感激のゴール!!

40^キ完歩の最年少:
笹原華乃(6才:新座市)/魁人(小1)兄弟
と25^キ完歩の最高齢:
佐藤清高(90才:練馬区)さんが一緒に感激のゴール!

第342号(平成19年5月1日)より

◇ 育児ノイローゼとは無縁な私 ◇

ふじみ野ウオークでは100km表彰していただき、5歳の息子、龍一共々大変喜んでます！SWAに入会してから一年少々、ペースとしては正に“カタツムリ”ですが、いつも子連れで参加して、役員や会員の皆様方に多大なるご迷惑をおかけしているのにも関わらず、毎回温かいご支援をいただきまして本当にありがとうございます。まずはこの場をお借りしてお礼申し上げます。



例えば、小さい子供を抱えて「どこかへ行きたい！」とわずうずしていた私

を救ってくれたのがウオーキングでした。二歳の娘を乗せたベビーカーを押しながらの散歩感覚ですが、周りの方々が皆「おじいちゃん」「おばあちゃん」になってくださり、(お若い方ごめんなさい!)「がんばってるね～」とお菓子などを下さいます。子供達も強い日差しの中長距離を耐え、半ベソになりながらもなんとか付いてきた苦労も報われることでしょう。歩いた後は大抵みんな疲れて早寝です。

私が今のところ育児ノイローゼなどとは全くの無縁なのもウオーキングと歩友(あるとも)のおかげです。子供の体力低下が著しいと言われて久しい今日ですが、まずは親から体力作りをしなくては、とがんばっています。これからも子供達と共に育ってゆきたいと思っていますので、175cmで子連れベビーカーのウオーカーを見かけたらどうか温かく見守って下さいますようお願いいたします。(松田 典子さん)

《こどもと一緒に歩いた後の充実感、大切にしていね。》

第299号(平成15年10月1日)より



ベビーカーに乗せられて参加してくれていた茉莉亜ちゃん、こんなに大きくなって・・・

龍一君は部活で参加できず残念。 2010.12 鎌倉WIにて

\$\$\$ 家族一緒に・・・ \$\$\$

先日、『ふれあい年輪ウオーク』に参加しました。ゴールは時間ギリギリでしたが途中、協会の方々が温かく見守って下さり感謝しています。長男の“家族一緒に歩きたい”、“小学生の内に1,000キロ完歩したい”という希望や目標がきっかけで、主人は健康の為に・・・妹は皆が参加するから・・・私は伴歩・・・と目的は違いますが、様々な大会で歩き始めました。小さい頃から参加している娘にとって、ゴールという言葉の響きは特別らしく“完歩し

たい!!”という意味はしっかりと持っている事に毎回感心させられます。“頑張れば完歩できる”それが本人の自信へと繋がっているのでしょうか。年輪ウオークは初参加でしたが、チェックポイントが沢山あり、子供たちには励みにもなっていて、この様な形式はととても良いと思いました。家族一緒に歩く・・・となると考慮する事は増えますが、子どもたちの様々な成長をかいま見る事ができる良い機会になっています。道のりはまだ遠いですが、できる限り家族で歩き、目標達成まで応援したいと思います。そのゴールの先にある健康も期待して。(中央区 井上順子)



「不感証」の務さんを祝う、井上ファミリー

4/20年輪Wにて

第355号(平成20年6月1日)より

◇ 楽しかったウオーキング教室 ◇

★ 毎回違うコースを巡り、歩きの勉強や仲間のおしゃべりは“たのしい遠足”のようでした。(務)

★ 楽しく継続できる為のヒントがたっぷりの教室で、質問をしやすい雰囲気良かったです。(順子)

★ ぼくは、完歩した時の達成感や途中で発見が楽しいので歩くことが好きです。ウオーキング教室では、そんなぼくに役立つことを沢山教えて頂きました。靴のはき方や姿勢、自分に合った速さ・・・中でもクールダウンをすることは、疲れをなくすために大切な事だとわかりました。

昼食は班ごとで食べ、コミュニケーションがとれている方と知り合いになれてよかったです。ウオーキング教室の講師の方々どうも有難うございました。(睦 12才)

★ ウオーキングきょうしつでは、しんごうなどとまったときや、あるきおわたあと、つぎの日に足がいたくならないように、ストレッチをすることをおしえてもらいました。自分でできるようになってよかったです。おひるに、おかしなどをこうかんできてたのしかったです。(あつみ 7才)

修了証を手に喜びのファミリー



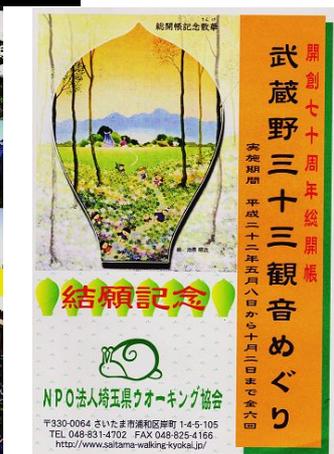
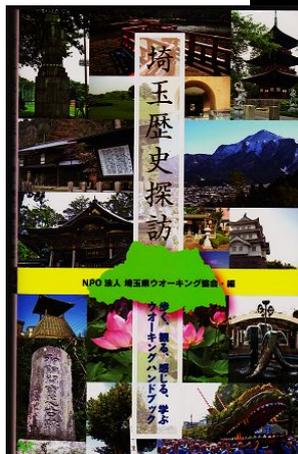
通信号外「わくわく教室のPR版」より

通信にまつわる
数字(6)

2

* * *

* * *



「埼玉あるけ通信」の連載が本になりました。

左は270回連載「埼玉歴史探訪」を160頁の本にしたものです。(1,400円)

右は101回連載「武蔵の国百観音めぐり」から「武蔵野三十三観音」の部分を本にしたものです。(400円)

若干在庫あり、ご希望の方は事務局まで

\$\$\$ “ふれあい年輪ウオーク” に感謝 \$\$\$

日頃は子育て・家事に仕事にと忙しい娘と、スリデーで20キロを経験している孫を誘い、3人で年輪ウオーク10キロコースを歩きました。今年の10キロコースはSWAに入会して間もなく参加したウオーキング教室のコースでした。

当時は夏の暑い時期に無我夢中で汗だくになって歩いた記憶がよみがえり、思わず苦笑しながら孫へ当時の話をしました。自由歩行でゆったりとした気分で歩くのは今日が初めての経験です。

孫は季節の花が咲く六辻水辺公園が大いに気に入った様子でした。

小休止は調神社でとりました。お宮参りに来ている晴れ着姿の家族連れを見ながら、孫が生まれた時のことや、娘から聞かされた子育ての苦労話など思い出しながらゴールに向かいました。

ゴール後に親・子・孫それぞれが従心証・不惑証・元気証を受け、役員の方に3人の記念写真(右)を撮っていただきました。お世話になった役員の皆さんと、家族と歩けた年輪ウオークに感謝しながら帰途につきました。(志木市 近藤國雄)



3人揃っての“年輪証”表彰!!
おめでとう
ございます。
(4/20)

第355号(平成20年6月1日)より

【新座市立野火止小学校6年生 荒川 繁人】

僕は40kmも歩いたことはなく、とっても不安でした。最初は楽だと思っていたら30kmを過ぎた辺りから凄く脚が痛くて、歩くのがとても辛かったです。結局笑っていられたのは最初のうちだけでした。ゴールが見えた時は、やっと終わると思いましたが、なかなか脚が前に進まず、やたら遠く感じました。ゴールしてからも脚が痛くて、なかなか動けませんでした。

凄く大変だったけど、完歩出来たのはやはり嬉しかったです。みんなともっと仲良くなれたと思います。小学校生活の最後に、また一ついい思い出が出来ました。出られたら、もう一度みんなと歩きたいです。

卒業生完歩者

(完歩した卒業生に記念写真を贈呈・良い思い出になるといいね。)



第342号(平成19年5月1日)より

◇ 武蔵野十里で新聞にのったよ! ◇

ぼくは野火止小1年の時、5年生の兄と祖母と母の4人で初めて武蔵野十里に参加した。



母の足の裏にはでっかいマメができて、兄は壊れたロボットみたいになっていた。ぼくと祖母は案外大丈夫だった。その時今井先生にほめられて「6年間参加できたら新聞に出してあげるよ」といわれたのでぼくは燃えた! 1年早かったけど朝日新聞にぼくのことが出た。うれしかった。

今井先生は大和田小学校に行ったけど、ぼくのことを覚えていてくれた。来年も絶対完歩だぞ! 大和田小学校やぼくの入ってる新座剣友会も参加するようになった。

大風や雨や雪でも武蔵野十里は決行する。菜の花の咲く川原の土手を歩くのは、写真で見るときれいだけど、歩いている僕らは大変だ。最後になると、泣き出す友達もいる。でも先生や友達にはげまされてがんばるのだ。最後に、ぼくらをすいすい追い抜いていくお年寄りがたくさん歩いているのは驚きだ。

(新座市 下田隆介)

第366号(平成21年5月1日)より

午前7時半、40キロコースの参加者がさいたま市浦和区の北浦和公園からスタート。途中で25キロと10キロの参加者と合流し、東松山市ウオーキングセンターを目指した。40キロに参加した新座市立野火止小5年の下田隆介君(11)は、1年生の時から5年連続の参加。昨年まで毎年40キロ、計160キロを完歩してきており、「友達と一緒に景色を見ながら40キロを歩くのが楽しみ。今年も完歩します」と言っていて出発した。

朝日新聞 3/23 より
「武蔵野十里」
春楽しみ歩く
1789人が参加

「埼玉あるけ通信」のあゆみ (V)

(記録に残る通信から)

阪神淡路大震災発生直後の「埼玉あるけ通信」
【チャリティーウォークの開催を伝える...196号】



埼玉あるけ通信

発行所 埼玉県伊勢崎歩け協会
〒330 さいたま市浦和区岸町1-4-5 会費700円
1995年(平成7年)8月1日発行 第196号
編集責任者 大澤 宏
編集長 小川 正

阪神大震災
チャリティーウォーク
ご協力をお願い致します。

阪神大震災被災者支援会
募金のお願い
1月17日午前5時頃に発生した、我が国
有史最大の災害をもたらした「阪神大震災」の
被災者の皆さんに對して、緊急募金を呼び、
心からお祈り申し上げますとともに、そのお見
舞いと、一日も早い復旧の復興を願っています。
地歩地として一年間を過ぎて被災者支援会
を創設したいと思います。皆様は被災者の皆
に1日1円をチャリティーに加わります。
又復興資金・復興ウォークに關しては
被災者支援会とさせていただきます。
(復興資金に關しては1月22日の總會に
對して金庫一割の復興金をいただきます。)
・復旧から復興までの復興金は日本赤十字
社を通じて被災者の復興に役立てて頂くことと

いたします。
被災者の多くは被災の直後に、電力
が復旧を心からお願い申し上げます。
みんなでお祈りの中を歩かれます。被災者の
皆さんからの募金のお願いは、被災者の復
旧ならびに日本赤十字社を通じて被災者に
渡されます。

会費をチャリティー
ウォーク 復興資金
117,580円
ご協力ありがとうございます。

埼玉あるけ通信編集長
1/12 会費 117,580円
2/12 贈り物 20,440円
合 計 138,020円

東日本大震災発生直後の「埼玉あるけ通信」
【すべてのイベントが中止に...389号】



埼玉あるけ通信

発行所 さいたま市浦和区岸町1-4-5 TEL 048-831-4702 FAX 048-825-4166
NPO SWA事務局 (除日: 第1日曜日、土日曜日、祝日と除日) 発行所 小川 正 編集責任者 大澤 宏

被災された皆様にも心よりお見舞い申し上げます。

災吉を乗り越え想い新たに立ち上がろう！
NPO法人 埼玉ウォーキング協会 会長 小川 正
東日本大震災とそれに伴う様々な災害により深刻な被害に遭われた皆様身にも心からお見舞いを申し
上げます。
甚重なる被害、手帳にせぬ原子力発電所の事故とその影響、物流ルートや交通機関の秩序的な状況、
計画的な停電など高度文明社会の基盤に生きてきた我々の生活や行動様式は大幅な変更を余儀なくされ
ております。
「歩いて日本を元気に」をメインテーマとして日本全国をウォーキングの輪で結ぶ「ウォーク日本
1800km」の発案にあたっては、20万人は全国のリーダーとして多様・多岐なウォーキング事業に
取り組んでまいりました。これからは歩く精神とこの道徳の輪を築きながら前進していかねばならぬと
改めて思っております。
しかしながら、当団の事業の推進に当たっては、事業参加者の安全・安心のため、事業の取り組みを
見直す必要も出てまいりました。
この結果、3/16 (水)の平日ウォーク、3/20 (日)「第25回飯能新緑」などの事業を中止しました。
なお、BSJMLの会費では3/26、27の「古河まくらがの里・花見ウォーク」は中止決定、3/16、17の
「上州太田グリーンマーチ」は中止の意向、3/19「東海ウォーキングフェスタ」は中止決定となって
おります。
このような状況の中で、SWAとしては、4月に開催予定の割合(4/3、4/17)、平日ウォーク(4/6、4/20)、
イヤラウンドコース(4/13、4/27)、ウォーキング教室(4/10、4/16、4/23)については、交通事情、春寒の
激化、前線滞留、放射能汚染の懸念、関係団体の自治体の意向などを総合的に判断し、中止することといた
しました。
なお、SWA事務局をスタートゴールとするイヤラウンドコースは通常通り、開催しておりますので、まだご参加
と自覚のもとにご参加ください。
なお、中止した割合「飯能新緑」(年輪ウォーク「黄金街道」)につ
いては、BSJMLの会費を2500円、ウォーキング教室(4/10、4/16、4/23)については、交通事情、春寒の
激化、前線滞留、放射能汚染の懸念、関係団体の自治体の意向などを総合的に判断し、中止することといた
しました。
会員の皆様におかれましては、関係会
により、情報交換のルートは...

本イベントは中止になりました。
本イベントは中止になりました。
本イベントは中止になりました。
本イベントは中止になりました。

【埼玉を歩く伊能 W 号外で即日報道する '99.7.17】

速報号外埼玉あるけ通信 1999年 7月17日
土屋知事 快汗！
～伊能ウォーク埼玉県大会第一日目～
AKIRA「INOマップ」ライブ
伊能ウォークテーマソングで、人生の
応援歌をAKIRAが熱唱。
発行: 埼玉県歩け歩け協会
TEL048(831)4702 FAX048(825)4166
http://village.infoweb.ne.jp/saihokyo

【第1回飯能新緑2DMを記念し特集号発行 2003.7.1】

埼玉あるけ通信
インターネットホームページアドレス http://www.saitama-walking-kyokai.jp/
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町1-4-5 TEL 048-831-4702 FAX 048-825-4166
発行所 埼玉県ウォーキング協会(SWA) 発行人 小川 正 編集責任者 大澤 宏 V.2
第1回飯能新緑ツデー「特集号」
新緑を一万人が堪能！
【参加人員】
両日で10,755人の人々が新緑の
変化に富んだ7コースを楽しんだ。
5/24(土) 999 2,371 1,587 848 5,805
5/25(日) 852 1,989 2,109 - 4,950
小計 1,851 4,696 3,696 848 10,755

「埼玉あるけ通信」のあゆみ(VI)

【埼玉あるけ通信年表】

初代会長 猪瀬哲夫(編集長:猪瀬哲夫 1号~43号)

号数	発行年月日	摘要
創刊号	S53 1978/10/10	B5版4ページ 、年間購読料2,400円でスタート
第7号号外	S54 1979/04/01	初めての号外発行

第2代会長 野口孝之(編集長:野口孝之 44号~97号)

号数	発行年月日	摘要
第44号	S57 1982/05/09	B4版2ページガリ版刷り 、年間購読料 3,600円
第60号	S58 1983/11/01	埼玉歴史探訪の連載開始『秩父事件始末紀(その1)』

第3代会長 藤田 正(編集長:藤田正 98号~173号)

号数	発行年月日	摘要
第100号	S62 1987/03/01	100号 到達、107号より年会費4,000円
第109号	S63 1988/01/01	縦書きになる
第140号	H2 1990/08/01	10年の夢実現 新事務所開設
第155号	H3 1991/10/01	JWAあるけあるけ合併号 シンボルマーク(スネイル)登場

第4代会長 岡野吉春(編集長:夏目 坦 174号~209号)
(編集長:馬渡裕二 210号~278号)

号数	発行年月日	摘要
第200号	H7 1995/07/01	200号 到達
第218号	H9 1997/01/01	色紙になる(現在のA4版となる)
第235号	H10 1998/06/01	HP登場
第266号	H13 2001/01/01	「伊能W」号外を発行

第5代会長 小川 正(編集長:馬渡裕二 279号~280号)
(編集長:阿部寛 281号~294号)(編集長:大澤宏 295号~)

号数	発行年月日	摘要
第296号	H15 2003/07/01	A4版8ページ となる
第296号	H15 2003/07/01	初めての別冊飯能特集号発行
第299号	H15 2003/10/01	『武蔵の国百観音巡り』連載はじまる
第300号	H15 2003/11/01	300記念号発行
第311号号外	H16 2004/10/01	通信自宅配送始まる(JWA経由)
第316号	H17 2005/03/01	『PPKに向けて歩こう!』連載始まる
第334号	H18 2006/09/01	2色印刷機導入
第350号	H20 2008/01/01	『くつした こぼれ ばなし』連載始まる
第370号	H21 2009/09/01	ウオーク日本1800取り組み開始
第397号号外	H23 2011/12/01	SWA独自での「通信」自宅配送始まる
第400号	H24 2012/03/01	400記念号発行

【編集・印刷・折込・発送に携わる編集関係者です】



「埼玉あるけ通信」400号到達
編集責任者 大澤 宏

「埼玉あるけ通信」は昭和53年10月に会の創立と同時に産声をあげ、この程記念すべき400号に到達いたしました。

創刊号からの「埼玉あるけ通信」を振り返りますと、ガリ版刷りでの発行やJWA新聞「あるけあるけ」との合併号またJWAの印刷機を借りての印刷などの時期を経て今日に至ることがわかります。その間のたずさわってこられた方々のご苦勞に改めて敬意を表します。

平成15年(2003年)6月【第295号】より、このような伝統のある編集にたずさわり、400号を迎えられたことは誇りであり、大きな喜びです。応援していただいたすべての方々に感謝いたします。

「通信」はSWAの一つの顔、「ウォーカーの皆さんに的確で、親しみやすい情報をお届けすることを目指してこれからも努力して行きたいと思ひます。

今後とも一層のご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。